

2020年度からの祝日の並び順と混雑予想、需給シミュレーション

1. 2020年以降の祝日の並び

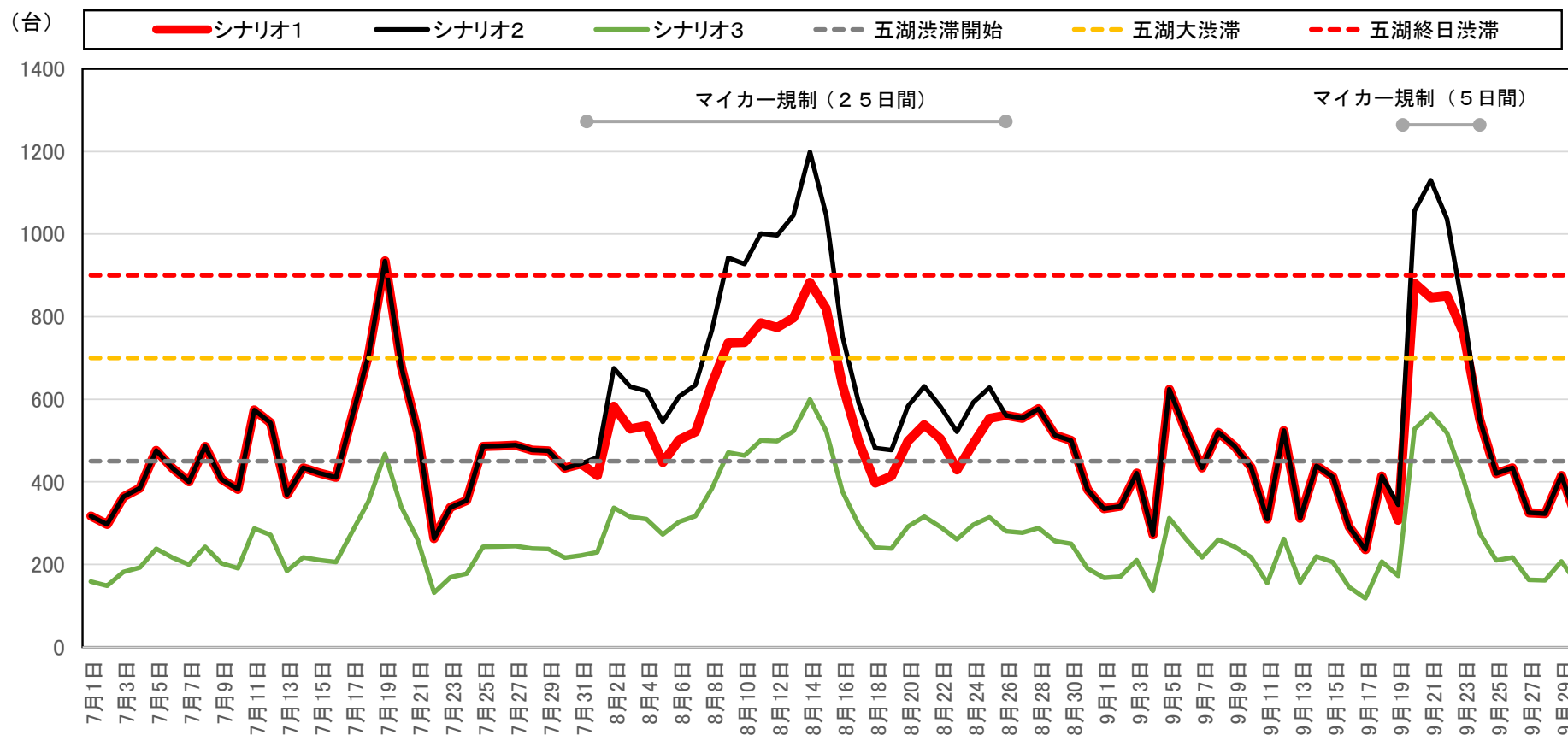
	2020年 (2015同歴)	2021年 (2010同歴)	2022年 (2016同歴)
7月	7/23~7/26 (4連休) 木金土日	7/22~7/24 (4連休) 木金土日	7/16~7/18 (3連休) 土日月
8月	8/8~8/10 (3連休) 土日月	8/7~8/9 (3連休) 土日月	
9月	9/19~9/22 (4連休) 土日月火	9/18~9/20 (3連休) 土日月	9/17~9/19 (3連休) 土日月 9/23~9/25 (3連休) 金土日
備考	東京オリンピック 延期 (7/24-8/9)	東京オリンピック? (7/23-8/8)	

2. 2020年の暦（7月～9月）

7月 July (文月)							8月 August (葉月)							9月 September (長月)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1 先負	2 仏滅	3 大安	4 赤口	26	27	28	29	30	31	1 大安	30	31	1 友引	2 先負	3 仏滅	4 大安	5 赤口
5 先勝	6 友引	7 先負	8 仏滅	9 大安	10 赤口	11 先勝	2 赤口	3 先勝	4 友引	5 先負	6 仏滅	7 大安	8 赤口	6 先勝	7 友引	8 先負	9 仏滅	10 大安	11 赤口	12 先勝
12 友引	13 先負	14 仏滅	15 大安	16 赤口	17 先勝	18 友引	9 先勝	10 友引	11 先負	12 仏滅	13 大安	14 赤口	15 先勝	13 友引	14 先負	15 仏滅	16 大安	17 友引	18 先負	19 仏滅
19 先負	20 仏滅	21 赤口	22 先勝	23 友引	24 先負	25 仏滅	16 友引	17 先負	18 仏滅	19 先勝	20 友引	21 先負	22 仏滅	20 大安	21 赤口	22 先勝	23 友引	24 先負	25 仏滅	26 大安
26 大安	27 赤口	28 先勝	29 友引	30 先負	31 仏滅	1	23 大安	24 赤口	25 先勝	26 友引	27 先負	28 仏滅	29 大安	27 赤口	28 先勝	29 友引	30 先負	1	2	3
2	3	4	5	6	7	8	30 赤口	31 先勝	1	2	3	4	5	4	5	6	7	8	9	10

3. 各シナリオにおける混雑予想（7月～9月）

五湖駐車容量の検討



暦が同パターンの 2015 年度五湖駐車台数（実数）を基にした五湖駐車容量のシミュレーション。

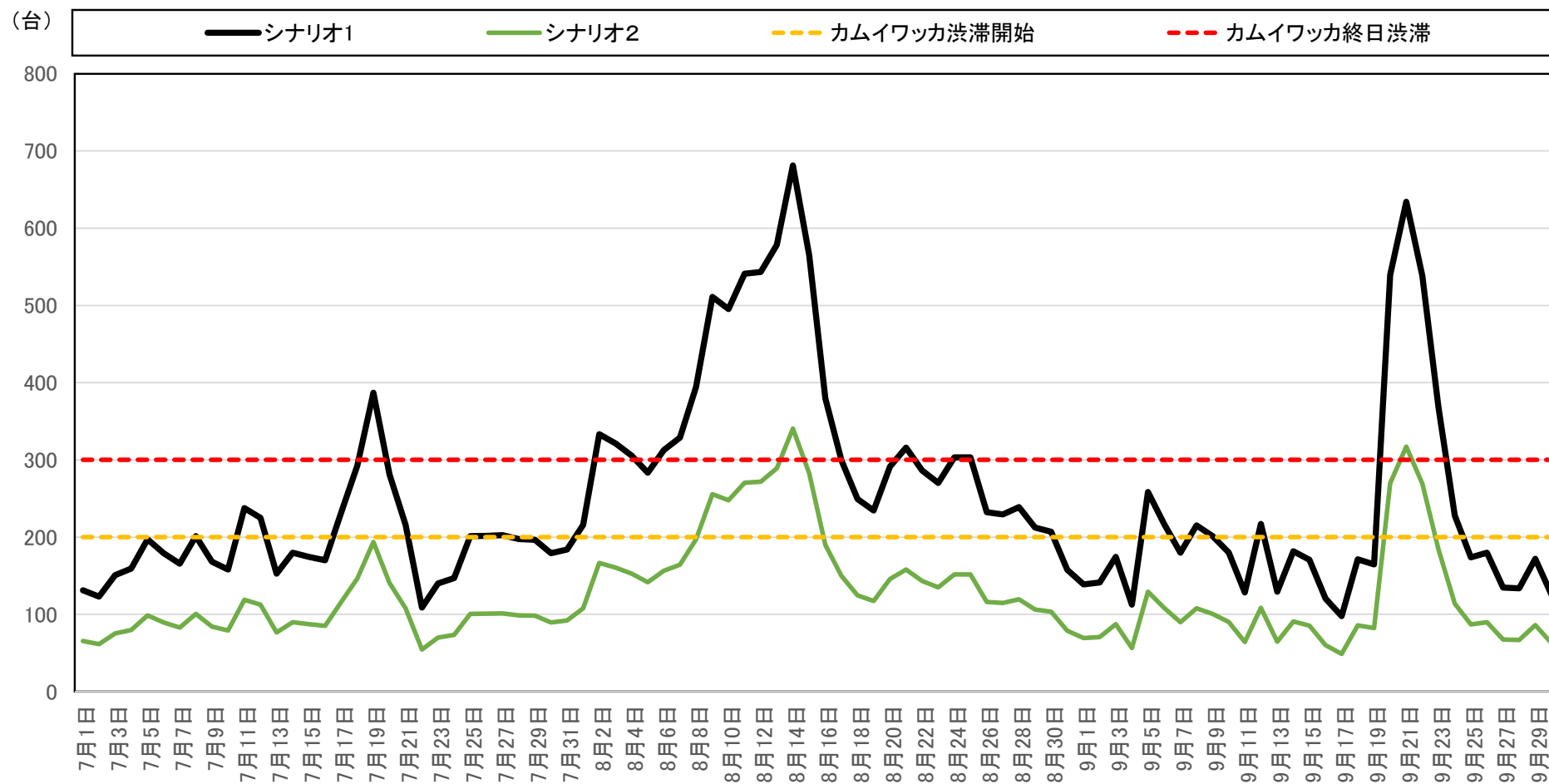
マイカー規制中止の場合は、シャトルバス利用者も自家用車で五湖に向かうと想定。2015 年度のマイカー規制は 8 月（25 日間）、9 月（5 日間）の計 30 日間。

シナリオ 1 従来規制を計 30 日間程度実施

シナリオ 2 マイカー規制中止

シナリオ 3 マイカー規制中止+需要が 50%減

カムイワッカ駐車容量の検討



暦が同パターンの 2015 年度五湖駐車台数（実数）を基にしたカムイワッカ駐車容量のシミュレーション。

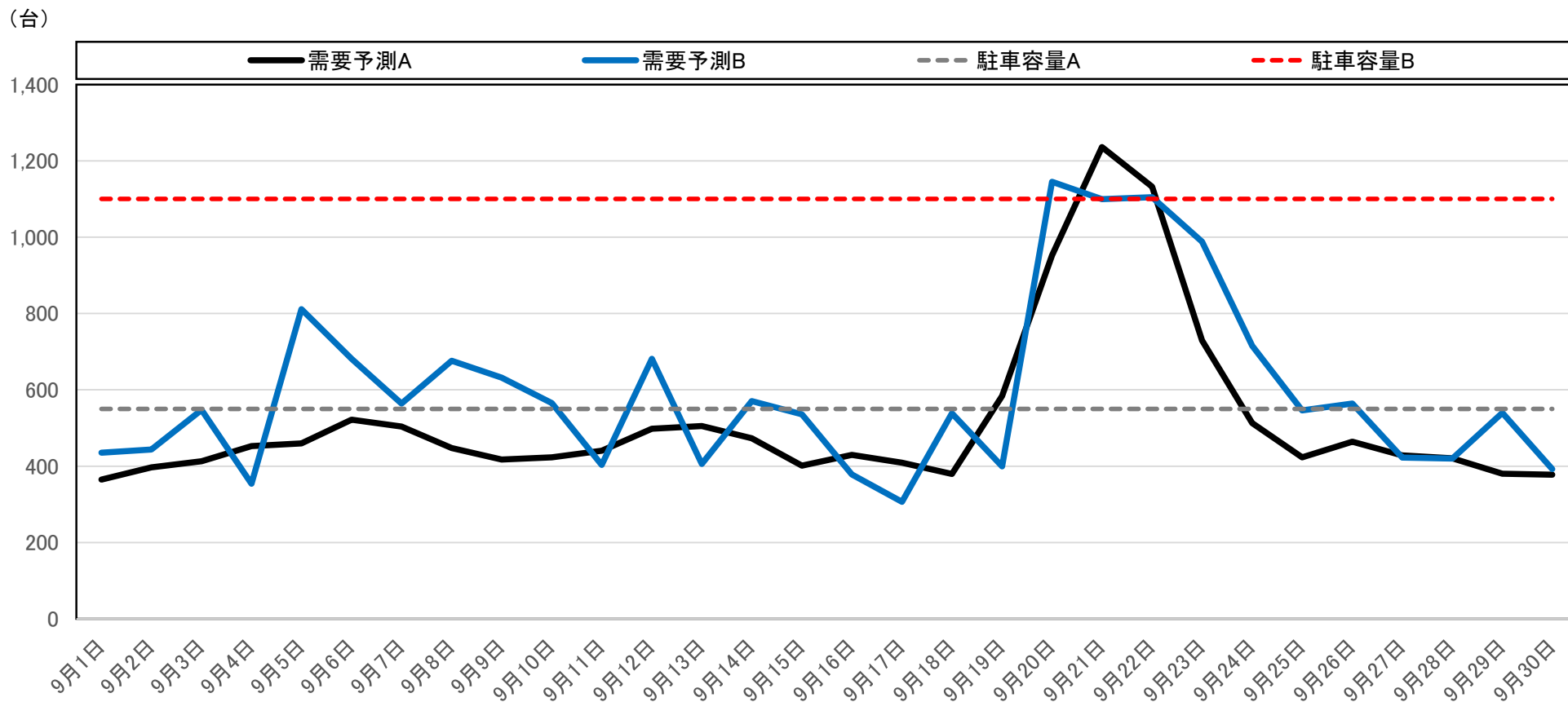
五湖の利用者のおよそ 4 割がカムイワッカに向かうという条件で計算。マイカー規制中止の場合は、シャトルバス利用者も自家用車でワッカに向かうと想定。推定値となるため信頼度は低い。駐車時間はおよそ 30 分程度とし、登山者車両などの長時間駐車は考慮していない。

シナリオ 1 マイカー規制中止

シナリオ 2 マイカー規制中止 + 需要が 50% 減

4. ホロベツからの車両規制を行った場合の需給バランスの検討（9月）

乗換えによる駐車容量の検討



暦が同パターンの 2015 年 9 月のデータを基に、ホロベツ地区からの車両規制を行った場合の駐車容量の需給シミュレーション。

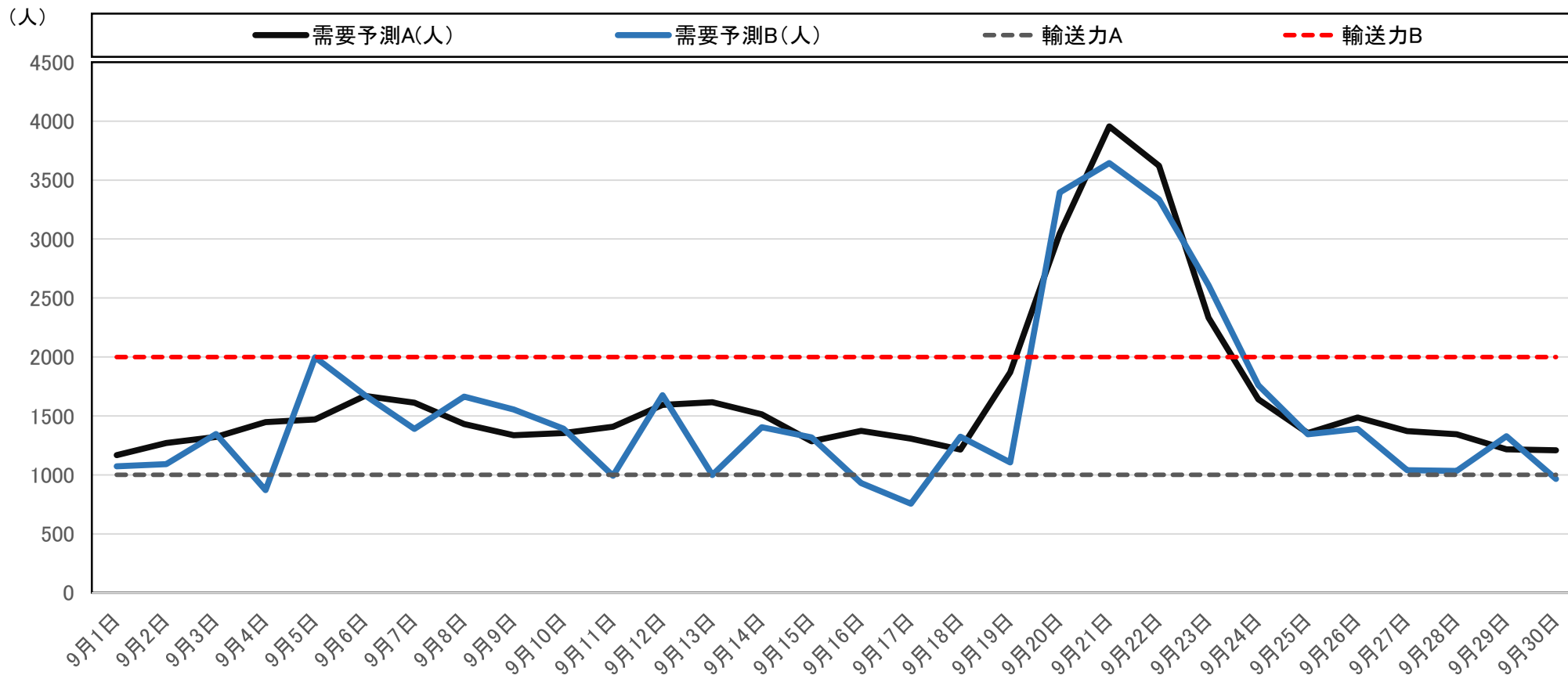
需要予測 A 道の駅ウトロシリエトクの利用者数と五湖利用者数の関係から予測モデルを作成し、道の駅利用者数から入り込み車両数を推定。

需要予測 B 五湖駐車台数に 1.3 を乗じた値。

駐車容量 A 乗り換え車両がすべて自然センターに駐車する場合の 1 日最大駐車容量。駐車台数（220 台）に回転率 2.5 を乗じた値。

駐車容量 B ウトロ地区に 200 台規模の駐車容量を確保し、ウトロ・ホロベツ両地区の連携を強化した場合の 1 日最大駐車容量。

乗換えによるシャトルバス輸送量の検討



暦が同パターンの 2015 年 9 月のデータを基に、ホロベツ地区からの車両規制を行った場合のシャトルバス輸送量の需給シミュレーション。

需要予測 A 道の駅ウトロシリエトクの利用者数と五湖利用者数の関係から予測モデルを作成し、道の駅利用者数から入り込み数を推定。

需要予測 B 五湖駐車台数とシャトルバス乗車人数からの五湖利用者数。

輸送力 A 現行の 20 分間隔でのシャトルバス輸送量。

輸送力 B ウトロ - 五湖間の運行頻度を高めた場合の輸送量。